



USオープン2006
男子準々決勝

R・フェデラー
vs
J・ブレイク



この試合の
見どころは
何だと思われ
ましたか？

そおです
ね……

3月の
インディアン
ウェルズ大会で
2人は対戦
していますが



だからブレイクが
その経験を生かし
フェデラー相手に
いきなり連続攻撃が
できるか……

そのためには
どんな方法で
戦っていくのかに
注目しました



そのとき
ブレイクは
回り込んでの
フォアからの
逆クロスへの
攻撃を多く
使った
ところ



ことごとく
フェデラーに
スライスで
かわされて
いたのです

第1セットはお互い譲らず
タイブレークに突入



5-4とブレイクに
リードされた
フェデラーは
ファーストサーブ
をミス……



常人の
限界を
はるかに
超えた
負荷を
かける
スポーツ
でもある
という……



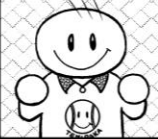
またそれは

プロのアスリート
たちは
体力、精神力を
極限まで
駆使して
相手と戦い
自分と戦い
……



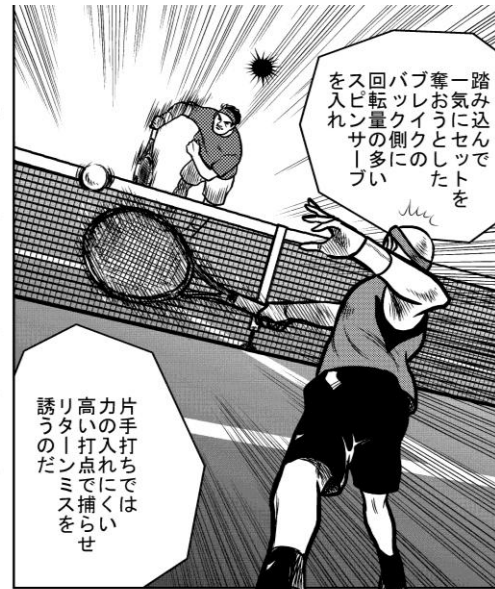
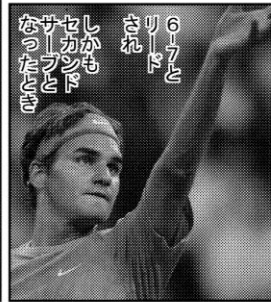
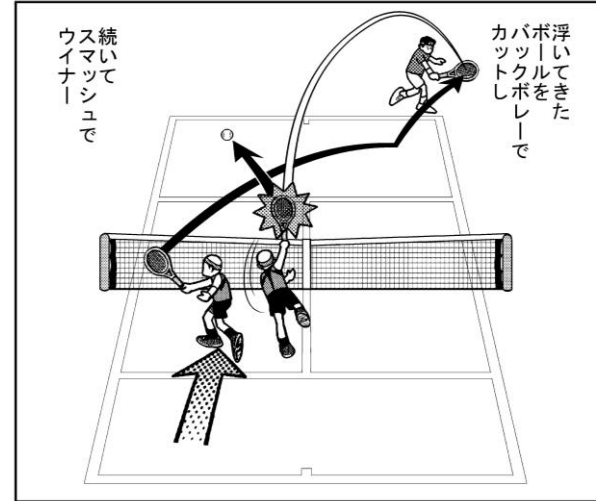
ジェームズ
ブレイクの
お話です

今回は
ブレーヤー生命にも
かわるような
ケガを克服した
見事に甦った



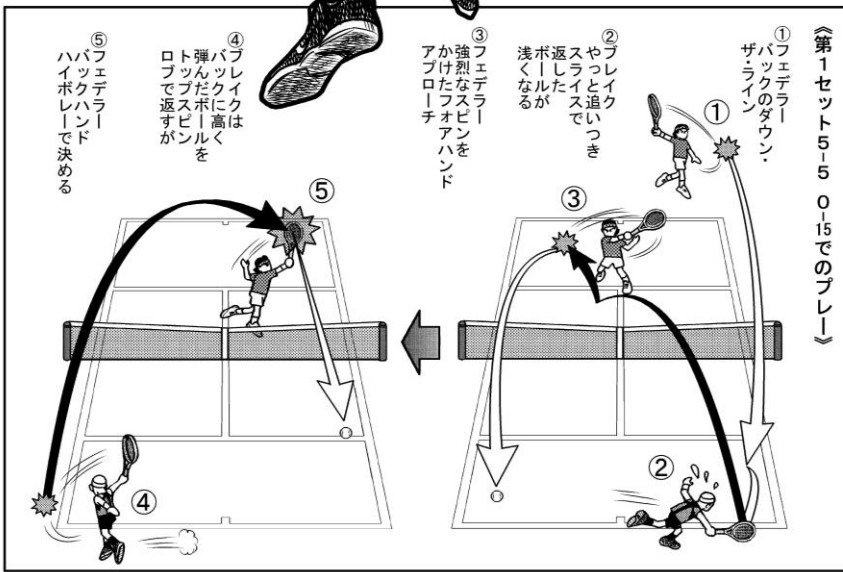
ミニブレーク

監修協力 ● 丸山 薫 漫画 ● 石川正順

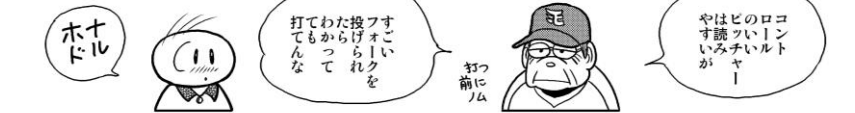


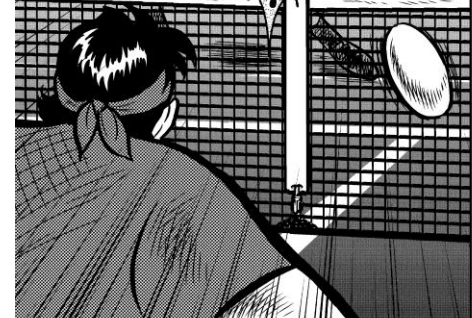
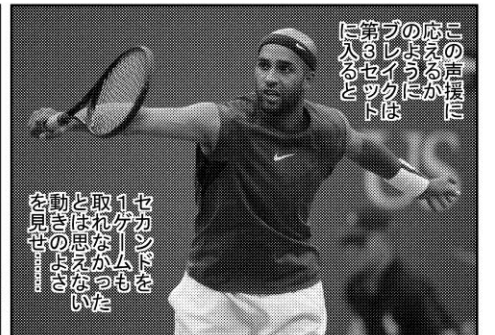
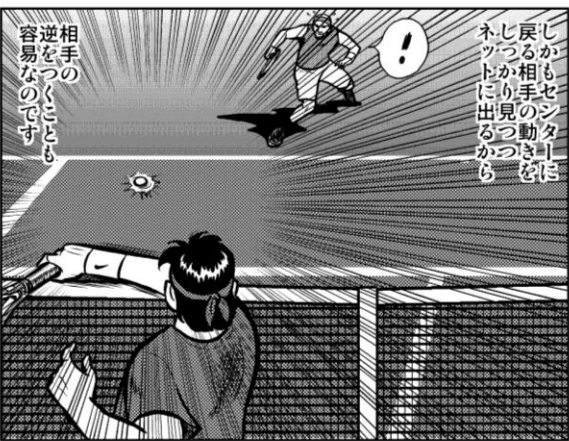
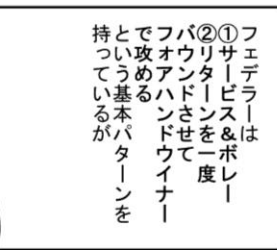
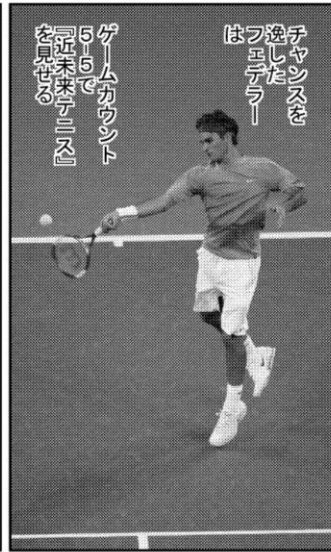
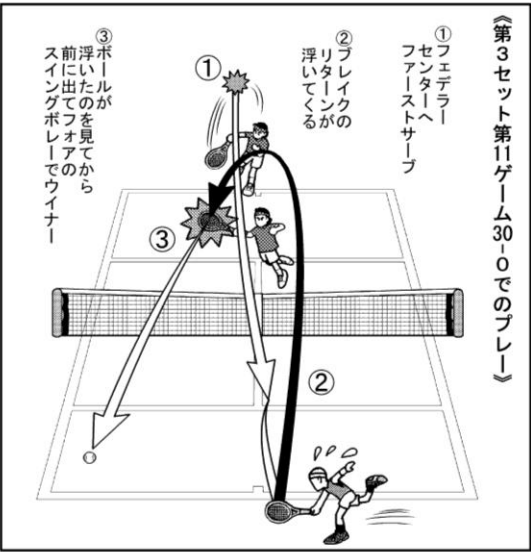
『ブレイクにバックの高い打点で打たせる』
この戦法には第一セット終盤に伏線があった

片手打ちでは高い打点で捕らせない
リターンミスをする



序盤から両者共に全力的に合戦が第一セットはブライトが先取りする



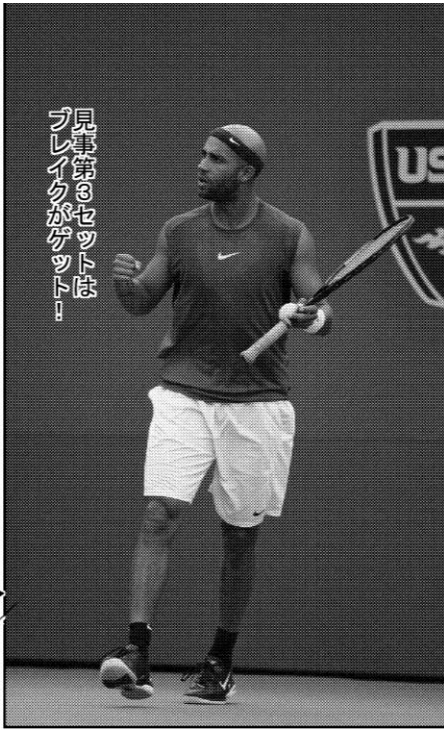
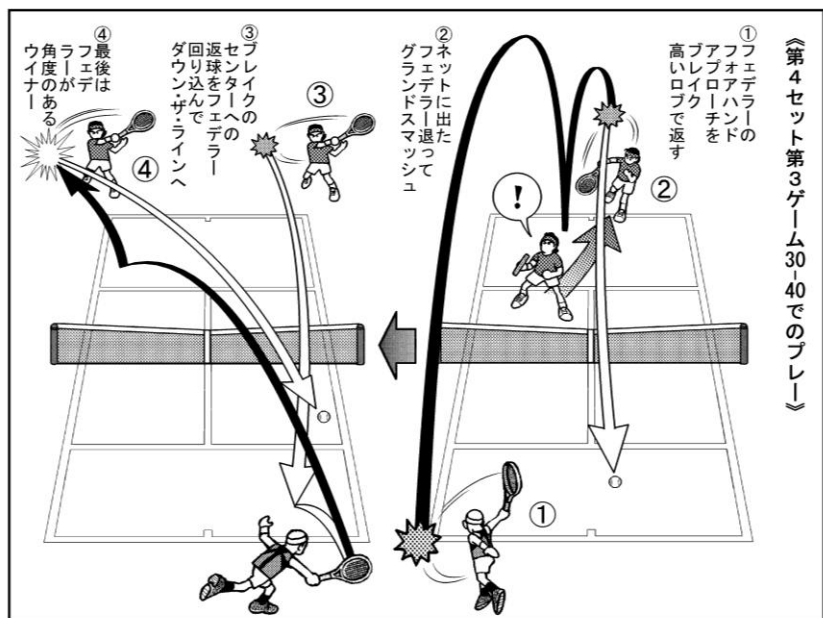




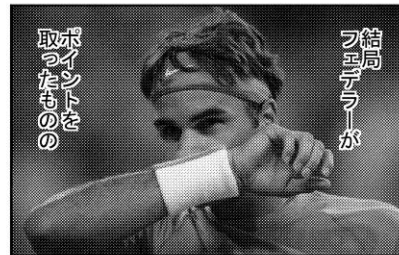
彼ハ
デイス
ト

フエデ
ラー
を見て
心配そ
うに大
ブレイ
クがた
印象的
でした

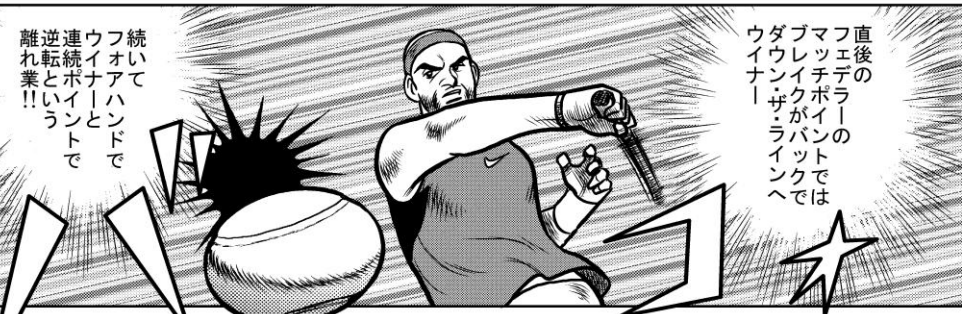
運も
実力の
うちと
言う
……
しかし
は幸運
は決し
て訪れ
ない



見事第3セットは
ブレイクがゲット!



しかし
ブレイクも粘り
第3セットも
タイブレイク!



途中で
ウイナーに
いけるボールが
あっても
フエデラーが
思いとどまるほどの
緊張感に満ちていた
このラリーは……

結局
フエデラーが

実に8-8では
30回もの
ラリーを続ける

直後の
フエデラーの
マツチポイントでは
ブレイクがバックで
ウイナー

このとき珍しく
フエデラーが
足を滑らせる
という幸運も
手伝って……

10-9で
逆にセット
ポイント
を迎えた
ブレイクは
作戦どおり
フエデラーの
セカンドサーブを
叩く!

——だが王者が王者たる所以はここからだった

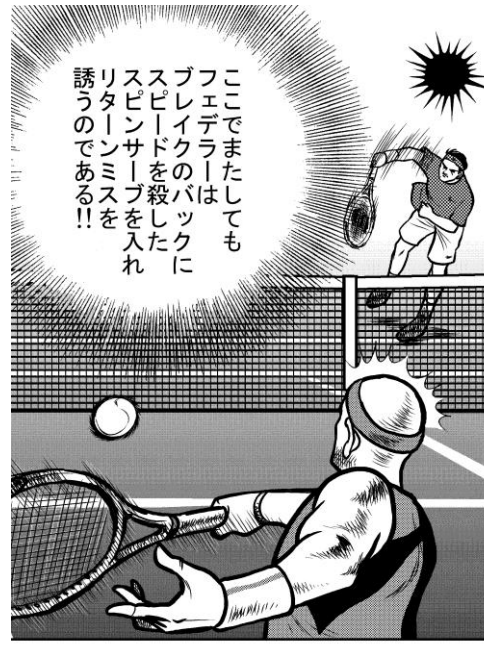


肘を支点とした腰に巻きつくようなフットワーク！

フェデラーならではのこのプレーで一気に波に乗り5-1とリード!!



絶体絶命のブレイクはフェデラーのセカンドサーブを3連続で叩くなどして4-5まで追いつがり王者が苦しめるが……



ここでまたしてもフェデラーはブレイクのバックにスピードを殺したリターンサーブを入れ誘うのである!!

6 6 6 7
4 7 0 6



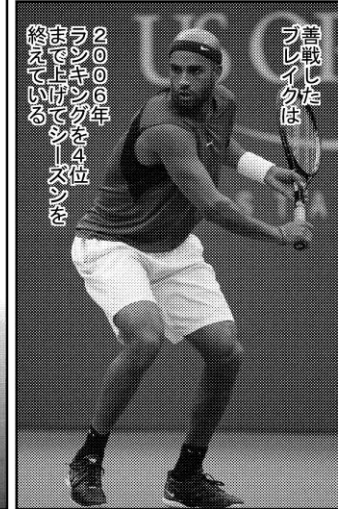
挑戦者精神と闘魂を最後まで持ち続けたブレイク



それを堂々と史无前例のチャンピオン



USオープン 2006 屈指の名勝負であつた



善戦したブレイクは2006年ラシンググを4位まで上げてシーズンを終えている

それまで24位が最高だった彼の躍進の原動力は何だったのだろうか……



ブレイクは04年に練習中に首を故障し さらにその後……



ウイルス性の病気にかかったりするなど 舌を やる 耳を 大変な時期がありました……

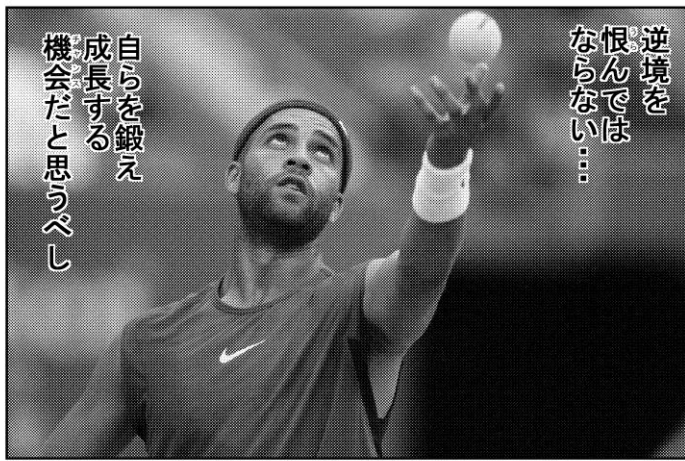


テカが ないか

しかしそれを乗り越えてテニスができる喜びを改めて知る…… いい意味で

と思える ようになり……

もともとあつた才能に遅い精神力が加わってカムバックできたのではないでしょうか (丸山 薫 コーチ)



逆境を 恨んでは ならない…… 自らを鍛え 成長する 機会だと思ふべし



そこで今回は私の好きなあるスポーツ選手が締めてくりませう

